



アミール・ ツアルファティ

[次はイスラエルに何が起こるのか？]

<https://youtu.be/7GOoMtrlDG4>



フィル牧師: さて、アミール、10月7日、イスラエル国家だけでなく、世界も永遠に変わりました。10月7日について教えてください。なぜなら、多くの人は知っているようで知りません。イスラエルは何と対峙しているのか、そして、なぜ彼らは今絶対に、完全にハマスを破壊することにコミットしているのか、ハマスを阻止するこ

とが、なぜそれほど重要なのか。

アミール: はい。ご存知のように、イスラエルは 1800 年代後半以来、この地に戻っています。そしてイザヤ書 66 章の預言どおり、イスラエル国家が誕生しました。英国人が撤退すると言ったとき、数時間以内に、私たちは国として宣言するかどうかを、決定しなければなりませんでした。「国は一瞬にして生まれようか。」(イザヤ 66:8)イザヤは尋ねました。そしてもちろん、それがなりました。しかし、敵との間に問題があることは、最初からわかっていました。神を憎む敵が、神と戦うことができないため、神の民に向かってくる。ですから、誤解してはいけません。1929 年、イスラエルが国家になる前に、私たちはすでにヘブロンで大量虐殺されていました。そして私たちは、今再び私たちを殺そうとしている同じ人間によって、大虐殺されました。そして、誰もそのことについて話さない。しかしこれは、神の計画を成就するために、神の民を神の地に連れ戻すという、神の計画を阻止しようとする、現在進行中の試みです。それが、私たちが目撃していることです。そして残念ながら、こう言わざるを得ません。イスラエルの地に住むユダヤ人の多くは、自己満足して、この国は非常に成功していました。明らかに、1990 年代から 2000 年代にかけて、イスラエル経済は急成長しました。私たちは、1948 年から 1967 年まで滅亡の危機に瀕していた国から、現在では世界の大国の一つとなっています。



多くの人が決心しました。今こそ、私たちが世界の一員になる時だ。そして、私たちの多くにとって、世界の一部であるということは、私たちを、他と異としていたものから遠ざかることを意味しました。私たちは受け入れられなくて、そのため私たちは、私たちを異とするものから逃げました。ちなみに、これは、神が初日から私たちに警告していたことで、バラムでさえ、彼らを呪おうとしたのに、自分が祝福していることに気づいたときに、こう言いました。「…見よ。この民はひとり離れて住み、おのれを諸国の民の一つと認めない。」（民数記 23:9b）でも、皆さんに知っておいてほしいのは、イスラエルは、10 月 7 日以前、引き裂かれていました。非常に多くの人が、自分たちのユダヤ人としてのアイデンティティを嫌い、彼らのユダヤ人としての背景を憎み、ユダヤ人としての彼らの立場、私たちがここでしていることを憎み、私たちはここにいることを、お詫びし始めました。まさに今、あなたたちに起こったのと同じように。イスラエルで起こっていることと、アメリカが今経験していることの間には、多くの類似点が見られます。ウォーク主義、自由主義、進歩的な考え方が占領しました。10 月 7 日の前日、最高裁判所は、ユダヤ人がテル・アビブの路上で祈ることができるかどうかを、決定する予定でした。想像できますか？それくらい私たちは引き裂かれ、分裂していたのです。

そして10月7日がやって来ました。6時…実際には午前4時半でした。非常に非常に珍しい動きを、私たちは、すでに検出していて、明らかに、何ヶ月もの間、国境沿いの兵士たちは警告して、指揮官に何か行動するように言い、話し、叫んでいたようです。しかし、それが軍事情報機関の上層部に届くと、それは、そこで止まりました。それがそこで止まった理由は、軍のトップ将軍の多くが政治に深く関わっていて、ネタニヤフに満足していなかったためです。そこで止まったため、それは止まりました。そして興味深いのは、その夜、すべての兆候はそこにあったにもかかわらず、準備をせよという命令は、地上部隊に出されませんでした。その考えは、ハマスは抑止されている、私たちが見ているのは、おそらく別の演習、彼らがここ数ヶ月にわたって行ってきた、軍事演習だろう。正直に言うと、ハマスのテロリストですら、これは演習だと思っていて、そしてわずか 1 時間前になって、「いや、今回は本番だ」と言われたのです。したがって、その日に実行することを知っていたのは、ハマスの最高司令部のほんの一部だけで、それ以外は、おそらく、また演習だろうと考えていました。そして何が起こったのかというと、6 時 29 分に、ロケット弾やモーター砲弾の激しい集中砲火が襲い、同時に、ドローンが爆弾を投下、狙撃兵が国境沿いのすべてのカメラを攻撃して、そして彼らは、イスラエル軍を盲目にし、国境沿いで何が起こっているかさえ、見えないようにしました。同時に、ト

ヨタのピックアップや、バイク、四輪駆動車に乗って、彼らは、フェンスの沿いの 15 か所を突破しました。そして彼らが最初にしたことは、可能な限りの国境沿いの軍事駐留の虐殺、そして彼らは、自分たちの賞品である民間人に近づきました。彼らは、できるだけ多くの人を可能な限り最もサディスティックで野蛮な方法で殺すために、準備を整え、武装してやって来ました。武器、爆発物、RPG の量...つまり、彼らが持っていた武器の量は、少なくとも、10 万人を殺害するには十分でした。そして、私たちが彼らのカバンの中で見つけた地図は、彼らが、さらに深くまで侵入する計画を持っていたことを示していました。2 つの戦略的軍事空軍基地を占領し、パイロット全員を殺し、地上の航空機をすべて破壊する計画。さらに言えば...今なら言えます...1 週間前までは、言えませんでした。彼らは、他の種類の兵器を備えた、いくつかの戦略的軍事施設の占領を計画していました。アレック、もし私があなたにコレを言っていたら、私はあなたを殺さなければならなかったでしょう。最悪の部分は...これが兵士と兵士の間とか、武装した者と武装した者の間の戦いなら問題ありません。しかし最悪の事態が起きました。国境沿いのユダヤ人コミュニティで働いていた、地元のパレスチナ人が、第二波で来た他の民間人を、“祝賀会”に案内して、略奪し、レイプし、斬首し、焼殺し、そして細かく切り刻みました。彼らが知っていた人々を。彼らを助け、彼らに仕事を与え、彼らに食べ物を与えていた人々。彼らのために結集した人々。彼らをイスラエル国内の病院まで車で送った人々。イスラエルの中で左側にいた人々、誰よりも最も親パレスチナ派だった人々。この人たちが、最初に惨殺されました。その方法は、皆さんの魂を汚したくないので言いませんが、しかし、私たちは、体を組み立てなければなりません。なぜかという私たち、頭の山、足の山、手の山を見つけたのです。考古学者を呼ばなければならなかったケースもあります。というのは、火によって身体が焼き尽くされ、DNA がなくなってしまったため、私たちは今、彼らの歯と宝石によって、彼らを識別する必要があります。私の隣町に住む 25 歳の女の子のケースでは、彼女は音楽祭に参加していて、7 週間の間、私たちは彼女がどこにいるのか分かりませんでした。皆さん、理解してください。その祭りの参加者がいた非常に小さなエリアで、何百人もの人々が虐殺されて、レイプは、所々で行われたものではありません。それは、組織的に行われました。私たちが生きたまま捕らえた人間全員を尋問して行った調査によると、レイプのためだけに任命された指揮官がいたのです。実際、彼らはそれを計画し、準備しただけでなく、そのためだけに人を任命しました。皆さんは、レイプとは何か、知っていると思うでしょう。いいえ、あなたは知りません。というのは、私たちが発見した女性たちは、完全開脚した体勢

で、彼女らの骨盤、脚、肋骨、すべてが折れていました。そしてそれらの動物は、彼女たちをレイプし続け…そして、彼らは銃を抜いて頭を撃ち、それから、また続けて、完全に粉々に砕かれた死体をレイプしています。そのような遺体が、1体や2体ではなく、数十体も見つかりました。男性でさえ、男性器が切り取られ、いたるところに、数十と発見されました。彼らはサディスティックでした。ですから、5時間後とか、2日後に遺体が発見されると、私たちは、その人は死んだのだと考えますが、今、私たちが分かったのは、3時間の拷問があったということです。なぜなら今になって初めて、生存者たちが話し始めたからです。彼らの多くは自殺を図りました。中には完全に精神を病んだため、精神病院に強制入院させられた人もいます。なぜなら、彼らは人類がこれまで見た中で最も恐ろしい残虐行為を目撃したのです。国境沿いのキブツの一つに、子供たちが自分の家を持つタイプのコミュニティがありました。そこには、その子供達を世話する人がいて。それは、あの野蛮人たちにとって、最高の出来事でした。彼らは子供たちを皆連れていき、生きたまま焼き、山積みにしたのです。妊婦が捕らえられました。彼らは、彼女の体を開いて、赤ん坊を引っ張り出して、そして、へその緒がつながったままの赤ん坊を刺して殺しました。私たちは、ホロコーストで、そのようなものを見たことがありません。ISIS でさえ、そのような行為を行うのを見たことがありません。そこで行われたこと、その方法、様式、その態度は、イスラエル人に衝撃を与えました。ですから、私たちは今、トラウマ後の国家です。私たちにとって、私たちを殺そうとしている怪物がいて、選択は簡単です。それが私たちを殺すか、私たちがそれを殺すかのどちらかです。他に選択肢はありません。私たちが今、すべきことは、怪物に対処することです。

でも、言っておきますが、私は神の御手を、三つの異なる側面から見ることができました。6、7 か月前、私はある情報源を引用した記事を書きました。「イラン政権の壮大な計画は、すべての代理勢力を同時に動員して、イスラエルを破壊することである。シリアとイラクから、レバノンから、ガザから、ヨルダン川西岸から、そしてイエメンから。」実際に今、私たちはガザ内にいて、ハマスの前哨基地を見つけたとき、それらすべての計画を見つけました。まさにその通りの計画、それが計画でした。しかしハマスは、他の者たちが刺激されて参加することを期待して、先駆けしたのです。彼らは、それがイラン人の望みではないことを、理解していませんでした。イラン人は、ハマスが自分たちにそのようなことをしたことに怒り、ショックを受けました。イスラエルを奇襲し、一度に破壊す

るための彼らの働きは、すべて水の泡となったのです。なぜなら、今や、我々はハマスを破壊し、私たちは、ヒズボラを遠くまで追いやり、そして私たちは、最高の警戒態勢にあって、彼らの計画をすでに知っています。これは奇跡です。

私が見たもう一つの奇跡は、イスラエル人は、向こう側の誰かが私たちの隣で平和に暮らすことを願っている、という幻想から目覚めました。私たちは目が覚めて、彼らが今公然と唱えていることを理解しました。「川から海へ…」彼らは、私を見たくないのです。わかりますか？私たちは目が覚めて理解しました。誰も話す人が居らず、話すことは何もない、2国解決策の可能性は全くない、パレスチナ自治政府も同様だ。そして、神が、私たちを連れて来たこの場所に自分たちがいることを、謝罪までしなければならない、というこの進歩的な考え方から目覚めました。

そして最後に、最後の一つは、ユダヤ人が世俗的な生活、快樂主義や物質主義から、神への信仰へと大規模に流れているのがわかります。そして、ガザに行く人は皆…ただ、彼らが知っているのはユダヤ教だけです。「これが、神への信仰を实践できる方法だ。」そして今では、たとえ最も世俗的な背景の出身であっても、兵士は皆、ガザに入り戦う際に、聖書小箱や、ヤルムルケ、祈りのショールを持って行くことを望んでいます。そして今私たちが聞いているのは…皆さんがテレグラムで私をフォローしているかどうか分かりませんが、聞いてください。今朝、私が投稿したのは、中に入る直前の歩兵のグループが、彼らは一緒に行き、互いにハグして、こう歌っているのです。「私はメシアの到来を信じている。」彼らは、そう歌っていたのです。私は、これを良いことだと見ることにしました。

でも私は…激しく憤っています。とても悲しく、激しい怒りを覚えています。彼らが私たちにした事に対してではありません。それは当然です。そうでなく、今の世界の反応に対してです。そして…

フィル牧師: はい、ではビデオをお見せしたいと思います。おそらくこれをご覧になった方も多いと思います。アミールも、これをソーシャルメディアで投稿しています。これは、最もエリートな高等教育機関の3人の総長、または学長に対する議会公聴会です。そのキャンパスでは、学生たちがユダヤ人の虐殺であるインティファダーを唱えていて、そして、これらの総長たちは今、その理由について、質問に答えています。「なぜ、キャンパス内でこれを許可するのか？」これを皆さんにお見せしてから、これに対するアミールの意見を聞きたいと思います。私たちは、これについてどう話すかを

知らねばなりませんから。私たちの子供たちは、世界観に直面しています。私たちの子供たちは、真実の歪曲に直面しています。多くの場合、私たちの子供たちは、正しいことに動機づけられて、抑圧されている人々、あるいは犠牲者であると彼らが認識している人々の問題を取りあげたいと考えていて、そして、私たちは真実が何なのか、そして私たちに同意しない人々と、真の知的な会話をする方法を学ばねばなりません。しかし、教会が対話に参加する時期が来ています。そこで、これをご覧いただいて、それから、今からここで見聞きすることに対するアミールの意見を聞きたいと思います。

【動画再生】



ステファニク下院議員：MIT（マサチューセッツ工科大学）では、ユダヤ人虐殺の呼びかけは、いじめや嫌がらせに関するMITの行動規範や規則違反になりますか？はい、それとも、いいえ？

コーンブルース：個人がターゲットの場合、公の場で発言をしていなければ…

ステファニク：はい、それとも、いいえ？ユダヤ人の虐殺を求めることは、いじめや嫌がらせにならないのですか？

コーンブルース：私たちのキャンパス内で、ユダヤ人の大量虐殺を求める声は聞いたことがあります。

ステファニク：しかし、インティファダーを唱えるのは聞いていますね？

コーンブルース：文脈によっては、ユダヤ人の排除を要求し、反ユダヤ主義となり得るスローガンを唱えるのを聞いたことはあります。



ステファニク：MITの行動規範や規則によれば、違う、ということですか？

コーンブルース：それが蔓延し、深刻な場合はハラスメントとして調査されるでしょう。

ステファニク: ペンシルバニア大学のマギルさん、ユダヤ人の虐殺を求めることは、ペンシルバニア



大学の規則や行動規範に違反しますか?はい、もしくは、いいえ?

マギル: スピーチが行為に変われば、それはハラスメントになる可能性があります。はい。

ステファニク: 私が尋ねているのは、具体的にユダヤ人の虐殺を求めることは、いじめや嫌がらせに当たるのか?

マギル: それが直接的で、深刻で、広範囲に及ぶ場合、それはハラスメントです。

ステファニク: では、答えは「はい」ですか?

マギル: それは状況に応じて決まります。議員。

ステファニク: 状況に応じて決定する、それが今日のあなたの証言ですね。ユダヤ人の虐殺を求めることは、状況によっては、いじめや嫌がらせにはならない?これは、「違反する」

と答えられる、最も簡単な質問ですよ。マギルさん。では、「違反する」と答えないというのが、あなたの証言ですね?

マギル: もしそれが...

ステファニク: はい、いいえ?

マギル: 言論が行為になる場合は、はい、ハラスメントになる可能性があります。

ステファニク: 行為とはつまり、大量虐殺の実行ですか?その発言はハラスメントではないのか?これは受け入れがたい。マギルさん、あなたの答えを世界に見てもらう機会をもう一度与えます。ユダヤ人の虐殺を求めることは、いじめや嫌がらせに関するペンシルバニア大学の行動規範に違反しますか?はい、それとも、いいえ?

マギル: それは嫌がらせになり得ます。

ステファニク: 答えは「はい」

では、ハーバード大学のゲイ博士、ユダヤ人の虐殺を求めることは、ハーバード大学のいじめと嫌がらせの規則に違反しますか?はい、それとも、いいえ?

ゲイ: 状況によっては、そうなり得ます。

ステファニク: どういう状況ですか？

ゲイ: 個人をターゲットにし、個人をターゲットにしたもの。

ステファニク: ユダヤ人の学生やユダヤ人個人をターゲットにしています。あなたの証言は、彼らの人間性を奪っていることを理解していますか？人間性の否定が反ユダヤ主義の一部であることを、理解していますか？もう一度お聞きします。ユダヤ人の虐殺を求めることは、ハーバード大学のいじめや嫌がらせの規則に違反しますか？はい、それとも、いいえ？

ゲイ: 反ユダヤ主義的なレトリックが行為に及ぶと、いじめ、嫌がらせ、脅迫に相当します。それは実行可能な行為であり、私たちは実際に行動を起こします。

ステファニク: つまり、答えは「はい」ユダヤ人の虐殺を求めることは、ハーバード大学の行動規範に違反するということですね？

ゲイ: 繰り返しますが、それは状況によって異なります。

ステファニク: これは状況によって異なりません。答えは「違反する」です。そしてこれが、あなたが辞任すべき理由です。これらの答えは全般的に受け入れられません。

[ビデオ終了]

フィル牧師: 私たちの文明はどうなるのでしょうか？私にも考えはいくつかありますが、皆さんは、私の考えを聞きく為にここに居るのではないのは、知っています。分かってます、分かってます。何百マイルも運転して来て…分かっています。アミール、これを最初に聞いた時、どう思いましたか？また、クリスチャンは、この会話にどう対応すべきだと思いますか？感情ではなく、知性、情報、事実を用いて？

アミール: ええ、聖書は告げています。私たちが、何人であれ民族を憎んでいるなら、神の御霊は私たちの中にありません。そして私たちは、理解しなければなりません。神の民に敵対する人は、神の瞳を攻撃しているのです。しかし、言っておきますが、皆さんが今見たものは、進歩的な考え方の成果です。もしあの議員がLGBTQや、アフリカ人やアラブ人、あるいはその他の人々について質問していたら、「はい」と即答するでしょう。ここで私たちが見ているのは、敵の試みの継続です。ちなみに、勘違いしてはいけません。霊的な角度を理解せずに、人間の目だけで見ると…これは霊的攻撃で

す。ユダヤ人の大量虐殺を、直ちに根絶すべきものと数えないことを望んでいるのは、敵だけ、ユダヤ人の根絶を望み、それを「状況による」と考えるのは、敵だけです。理解しなければなりません。このタイプは...しかも、これらは、その機関の指導者です。アイビー・リーグの大学、今のあれは、彼らの死です。あなたが今見たもの、あんなものを、誰も、将来的に目指さないでしょう。なぜなら、自分の子供があんな種類の人間になることを、望む親などいませんから。しかし、言っておきますが、これは、何も新しいことではありません。皆さんが今見ているものは、過去 20、30 年にわたって、熱心に取り組み、非常に多くの人々の思想や魂に刷り込まれてきたことの現れであって、今、誰が教師で、誰が学長であるかが分かりました。そして、これらの教育機関の学生たちが、街を歩いて、軽率に次のようなことを言うのも納得です。「川から海まで、パレスチナは自由になる。」そして、彼らに「どの川だ？」と尋ねると、「ああ…。」どこの海？「ああ…。」彼らはインティファダを唱えますが、彼らに「インティファダとは何だ？」と尋ねると、「ああ…。」彼らはもう、何も考えていません。なぜなら、世界はもう、人々の思考に興味を持っていないからです。そして、私たちに真理の言葉があり、私たちが神の御言葉を持っていて、私たちの中に神の御霊が宿っているとき、そのとき初めて理解し、それが唯一、これと戦う方法です。

しかし、これだけは言っておきます。私はこれを見えています。伝統的に非常にリベラルで、非常に進歩的であったアメリカのユダヤ人たちは、今、目が覚めています。なぜなら、今、彼らは理解したのです。進歩的であること、リベラルであること、そしてウォークで、クールで、寛大で、それから、抑圧されていると思われる人々を常に応援してきたのに…今は誰も彼らを見ません。そして、誰もそれを美德とは考えません。ユダヤ人は、ユダヤ人であるという理由で嫌われている。彼らの政治的立場のためではなく、彼らの進歩的な考え方や、世界観のためではなく、ただ、彼らがユダヤ人であるために。そしてそれを理解すると、彼らは次のことに気づきます。全て、私たちが戦ったこと、お金を寄付したこと、投票したこと、さらには信じていたことさえも、すべてが実際に崩れていく。なぜなら、これらの人々は、その瞬間が来て、悪魔の出現を許したら、彼ら全員が、今、私に敵対してくる。ところで、残虐行為は、実際にイスラエルで起こっているのに、今、アメリカのユダヤ人が攻撃されているのはなぜですか？それは、問題がイスラエルではないからです。ユダヤ人であることが問題なのです。問題はそれです。昔は、彼らはとても、とても、とても賢く、こう言いました。「私はイスラエルには反対です。でも私は、ユダヤ人は愛しています。」彼らはもう、そんなことは言いま

せん。今、彼らは気づきました。イスラエルが戦っている理由は、私たちがユダヤ人であるという理由で、彼らが私たちを殺しに来たからだ。そして今、彼らはようやく気づきました。「ちょっと待てよ…何百人ものユダヤ人女性がレイプされ、殺されているのに、立ち上がって非難する女性団体が一つもない。」彼らは、気づきました。「無団結（UN）が何も言っていない。」国連(UN)は全く団結していないから。彼らは、自分たちがいつも支援していた組織が、すべて沈黙していることに気づきました。

フィル牧師: 事実、私は、コロンビア大学の教授の論文を読んだのですが、我が国で最もリベラルで左派的な大学の一つ、ニューヨークで、ユダヤ人の教授がリベラルな友人や、リベラルな同僚たちを非難しながら、まさにそのことを言っていました。なぜなら、彼らに見捨てられたと感じたからです。まさにあなたが話していた通りです。単純な真実は、皆さん、見てください、人々は、近代国家がどうやって誕生したのかすら知りません。「不法占拠」とか、「ここは不法国家だ」ということをよく耳にします。このようなことを聞いたら、イスラエルが国家として再誕生したのは、イスラエル国防軍がパレスチナに転がり込み、ただ占領したのではなく、彼らは、1948年に、国連投票により、当時の国連憲章国の大多数によって承認されたのです。こうして近代国家が誕生するのです。70年経った今、国連は70年前に決定したことを、ただ覆すことはできません。それはわかりますね？ですから、まったく知識のない人々がこのように話しているのを聞いたなら、私たちは、歪みを修正しなければなりません。これは不法占拠ではありません。彼らは法的に国家として認可されました。こうして国家が誕生するのです。誰が誰を占領しているか話したければ、たまたま、イスラム教全体の第三聖地が、ユダヤ教全体で最も聖なる場所を占領しています。では、誰が誰を占領しているのか？それから、最初に誰がそこにいたのか、本当に話したいのなら...でもね、結局のところ、マルクス主義の宗教が乗った世界観を持っている者にとって、事実は重要ではないのです。人々が世を見ると、被害者か加害者しかいません。もしあなたが経済的、軍事的、政治的に何らかの権力を持っているなら、あなたは明らかにその地域のいじめっ子で、あなたに敵対する者を、私たちは選ぶ(と世は考えます。)

アミール: 停戦を求めるなら、10月6日には停戦していました。私たちがそれを破ったのではありません。そして、今も130人以上の人が拉致され、地下に拘束され、虐待を受けていることを忘れないでください。少なくとも12~16人の若い女の子達が解放されていない理由は、この女性達が、自分

たちの身に起こったことについて何を言うかを、彼らは正確に知っているからです。だから彼らは、女性達を解放しないのです。10月7日に捕らえられ、捕虜となっているイスラエル人達は、国連職員や医師の家に拘束され、地下に拘束され、彼らは虐待され、拷問を受け、彼らは食事を与えられず、フィリピンから来ていたアジア人の中には、水をかけてトイレトペーパーを食べた人もいました。彼らはそれを食べたのです。皆さん、この戦争を終わらせたいのであれば、降伏して、拉致された人々を私たちに返してください。そうすれば終わります。私たちは戦争を望んでいません。しかし、1,400人を虐殺し、250人を拉致して、世界がそのまま続くと思っははいけません。地球上のどの国でも、普通ではられません。それから、クリスチャンとして言います。なぜなら、クリスチャンの中に、相手に対する愛や思いやりが足りないと、私を批判する人が居ますから。一つ言わせてください。まず第一に、ローマ人への手紙 13 章に、政府には悪を行う者に復讐する義務がある、と書かれています。それをする権利ではなく、それを行う義務です。私の政府です。私はそこに行ってパレスチナ人を撃つつもりはありません。いいえ、私には軍隊があり、政府があつて、聖書によれば、彼らはそれを行う義務があるのです。そしてもし、彼らが戦争を終わらせたいのなら、あなたが拉致したすべての人々を私に返し、これらすべての人々を殺した人間を全員引き渡しなさい。それだけです。戦争はすぐに終わります。

フィル牧師: はい。最初の質問。

女性 1: 私の質問は、モーセが死んで、ヨシュアがイスラエルの民らを率いて川を渡った後、神はヨシュアに、町々を破壊し、その土地のすべての住民を滅ぼし、すべての異国人を、そこから追い出すように言われましたが、それは完全には起こりませんでした。今日も、それが起こるのを見ているのでしょうか？そして現代のイスラエルは、ヨシュアの教訓から学ぶのでしょうか？

アミール: そうですね、まず第一に、皆さんに、読んでほしい本があります。ジョーン・ピーターズの著書で、タイトルは『From Time Immemorial』(太古の昔から)その理由は…ええ、もう入手できないのは知っています。でもそれは、インターネットに出ています。しかし、これだけは言っておきます。今日私たちが目にしている、自らをパレスチナ人と呼ぶアラブ人のほとんどは、労働移民としてやって来て、彼らのほとんどは、ユダヤ人が土地に戻り始めた後にやって来ました。私たちはそのことを、英国の委任を受けたオスマン帝国や国連のアーカイブから知っています。だからそれは、疑う余地も

ありません。何が起こったのか、私たちは知っています。皆さん、理解する必要があります。アラブ人は、自分たちをパレスチナ人と自称していませんでした。コーランの中には、その言葉すらありません。そして、彼らの言語には「P」という文字さえ存在しないのです。彼らは 1920 年代、30 年代、40 年代、自分たちのことを、パレスチナ人とは一度も自称していません。なぜかという、彼らは自分たちをアラブ人だと自称していたからです。1948 年まで、自らをパレスチナ人と自称していたのは、ユダヤ人たちでした。ユダヤ人は、パレスチナのパスポートを持っていて、パレスチナ・ポストは、今のエルサレム・ポストです。パレスチナ旅団は、第二次世界大戦中のイギリス軍のユダヤ人旅団でした。私たちが、自らをパレスチナ人と呼んだのです。精神的に異常をきたしたローマ皇帝が、ユダヤ人を罰しようと決意し、そしてその土地を、旧約聖書の敵であるペリシテ人の名前にちなんで名付けたのです。パレスチナという名前さえも、聖書に登場するユダヤ人の歴史と関連していて、アラブ人とは何の関係もありません。では、ペリシテ人とは何者だったのか？ギリシャ諸島出身の人々です。彼らはアラブ人ではありませんでした。そして、"パレスチナ"人という言葉の意味は何ですか？侵略者という意味です。つまり、自分をパレスチナ人と呼ぶなら、あなたは実際に自分が侵略者であることを認めているのです。そして興味深いのは、ユダヤ人がついに国家樹立を宣言し、神が与えた名前イスラエルに戻すことができたとき、アラブ人が、パレスチナ人という名前を採用したのは、その時です。もし彼らが、アラブ人という名前をそのままにしていたら、明らかに、彼らがアラビア出身であるという事実を示しますから。彼らはアラブ人です。しかし、彼らはアラブ人であってはならず、今、彼らは、何らかの形でこの土地のこの地域に属さなければならなくて、そこで彼らは筋書きを変えたのです。1920 年代に、イスラム当局が神殿の丘について説明した小冊子を発行したことをご存知ですか？その中に彼らは、ソロモン神殿があった場所の上に岩のドームが立っていると書きました。ところがなんと、今日、彼らは、そんなことは決して起こらなかったと言います。彼らは、そこには神殿はなかったと言いました。今日。なぜ？なぜなら、それは彼らが過去 70 年間にわたって作り上げてきた筋書きに合わないからです。パレスチナ人の国旗が発明されたのはいつですか？1964 年。イスラエルは、すでに独立から 16 年経っていました。パレスチナ国旗はありませんでした。パレスチナの国旗、1930 年代のパレスチナの国旗がどんなものだったか知りたければ、ダビデの星があったことがわかります。よく聞いて下さい。唯一、パレスチナ人が発明したものは、彼らが国家だったという事だけです。分かりますか？改革もなく、何もなく、ただ、存在しなかった歴史を発明して、彼らが被

害者であることを、全世界に伝えただけです。これは、ヨシュアがこの地に入ったのとは類似しません。なぜなら、ヨシュアの時代にいた七つの諸国、ヘテ人やペリジ人、ギルガエブス人、そういった者達は、彼らのうちの誰も生かしてはいけないと神が言われたほど、邪悪な行為や習慣を実践していたのです。覚えていますか？そしてその基準は、今や神の民の基準、神の地における神の御言葉となったのです。分かりますか？彼が言ったのは、そういうことです。これは違います。私たちは、土地に入ったのではありません。マーク・トウェインは 1800 年代に、「私は全旅程で生きた魂を一人も見なかった」と語っています。この土地は過疎地だったのです。この地に多くのものをもたらしたのは、ユダヤ人の帰還です。締めくくりにこれを言いましょう。1917 年に、バルフォア宣言があって、そして 1919 年、ユダヤ人はアラブ人と和平協定を締結しました。知っていましたか？メッカとメディナの聖地の管理者である、イスラム教徒の指導者との間で和平協定が結ばれ、メッカのシャリフの息子アブドゥッラーは、ハイム・ヴァイツマンと契約を結んだのです。彼らは契約を結び、そしてその和平協定に参加したイスラム教徒たちは、こう言いました。「私たちは、この土地がイスラエルの人々のものであることを認めます。私たちは、ユダヤ人に土地に戻るよう勧めます。しかし、ユダヤ人の皆さんに懇願します。どうか、私たちがシリア、レバノン、イラク、アラビアにアラブの土地を建設するのを協力してください。」そして私たちの間に平和がない唯一の理由は、アラブの指導者が、賢明にもこう言ったからです。「大英帝国が我々に約束したものを我々に与えるまでこれを保留にする、と署名しよう。」すなわち、イラク、レバノン、シリアです。そしてイギリス人は、それを与えなかった。そのため、アラブ人が、イスラエルが我々のものであることを認めた和平協定は、無効となりました。ですから、これは違います。

この後の質問に対する私の回答が、これほど長くないことを願います。そうでなければ、明日までここにいることになる…ごめんなさい。

フィル牧師: ええ、それは世界から失われてはいけません。アブラハム合意は、実際、中東の各地に平和をもたらしました。しかし、一度も実現していません。それは、たまたま起こりました。というか、注目している人には、タイミングは明らかです。ハマスは平和を望んでおらず、サウジアラビアを含むイスラエルの敵がイスラエルと和平協定を結ぶなど、最悪の事態です。イランは、自分たちが何をしているのか、正確に分かっていました。このような攻撃によって、アブラハム和平協定が完全に破壊される可能性があることを知っていたのです。ですから、注意して見てください。こちらが完

全に殲滅すること、完全破壊だけが唯一の勝利となる民族と、和平を結ぶことはできません。1988 年、文書によって公認されました。2 国解決策は、彼らが望んでいることではありません。彼らは、ユダヤ人の完全破壊を望んでいます。そのような人々と和解することはできません。「平和、平和」と言っているすべての人、「なぜ、イスラエルに呼びかけないのか？」よく聞きなさい。10 月 6 日、平和はありました。そして、より多くの国がアブラハム協定に署名すれば、より多くの平和が得られたでしょう。彼らは理由があって平和を破ったのです。

次の質問にいきましょう。

女性 2: はい。まず第一に、アミール、あなたのミニストリーに感謝します。それから牧師、この教会に感謝します。ありがとうございます。心から感謝します。質問する前に、私の後ろに座っているこの素敵なカップルのことをお伝えしたいと思います。この男性は、1 月に 100 歳になります。彼は、第二次世界大戦で、ユダヤ人とアメリカ人、そして世界の自由のために戦ってくださいました。

アミール: ありがとうございます。ありがとうございます。私はあなたの誕生日に招待されていますか？いいえ？そうですか。分かりました。

女性 2: はい、では簡単な質問です。

アミール: わかりました。

女性 2: 今、トンネルやガザ各地で見つかった武器は、7 年間の武器の焼却の始まりだと思いますか？

アミール: いいえ。

女性 2: 早かったですね。

アミール: でも、その理由をお話します。待って。戻ってください。7 年間にわたる武器の焼却は、エゼキエル戦争に属するもので、そして、エゼキエル戦争は、非常に明白な理由から、まだ起こっていません。エゼキエル戦争では、イスラエルを助ける国はありません。そしてエゼキエル戦争とは、ロシア、ロシアが主導し、イランとトルコ、リビア、スーダンが支援する戦争です。この特定の戦争は、次に起こる戦争であると私は信じています。そして私たちは今、その戦争を促進する出来事を見てい

るのだと、私は信じています。しかし、あなたが言及しているのは、その戦争の結果で、まだそこには至っていません。

女性 2: では、今はイザヤ書 17 章の戦争ですか？

アミール: イザヤ書 17 章は、この地域全体にエゼキエル戦争を引き起こすきっかけとなる、小さな事柄だと私は信じています。イザヤ書 17 章を知らない人のために説明すると、これは、ダマスカスが完全に破壊されて、廃墟になることを告げています。そしてご存知のとおり、ダマスカスは、そこまで破壊されたことは、一度もありません。ですからこれは、将来の出来事であって、それは起こります。

もし、あなたが読書家で、小説を読むのが好きなら、最新のスリラー小説『アウト・オブ・ザ・ファー・ノース』はそれを扱っています。あなたが座る前に言っておくと、私たちは、数日前に次の小説について話し合ったばかりですが、私はエルドアンに対して、非常に怒っています。なぜなら、私たちが話したすべてのこと、次の本の策略の主要な部分を、エルドアンが、翌日に言ったのです。だから、私には理解できませんが…しかし、言っておきます。ダマスカスは破壊されます。そしておそらく、それでイスラエルが非難されて、ロシア、イラン、トルコ、そしてリビア、スーダンが我々に攻めてきます。そして、誰がその侵略に抗議すると思いますか？サウジアラビア、シェバとデダン、タルシシュの獅子たち、つまり ヨーロッパ、西ヨーロッパ、タルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たち。若い獅子たちは、アメリカかもしれないと言う人もいます。分かりません。一つ確かなことは、アメリカは我々を助けません。アメリカは、エゼキエル戦争では私たちを助けてくれません。問題は、なぜなのか？

女性 2: 私たちはここにいないから。

アミール: 私の祈りは、教会の携挙によってアメリカが麻痺することです。

女性 2: ありがとうございます。

アミール: はい。

フィル牧師: 次の質問。

男性 1: ここにはあなたを批判する人はいませんよ。あなたはたくさんの友の中にいます。今日、お会いして質問できることを光栄に思います。簡単な質問が 2 つあります。順番に説明します。ネタニヤフ首相は、記者会見で、ガザ地区のハマスを掃討した後、イスラエルが軍事駐留する可能性が高い、

と語っていました。しかし 2005 年、イスラエルはガザから軍事駐留を撤退しました。その 2 年後、ハマスが政権を引き継ぎ、ハマスがパレスチナ当局を虐殺して、彼らは、皆に信仰の表明をしました。「ユダヤ人を皆殺しにする。」そして、パレスチナ人の 58% がハマスに投票しました。（アミール：その通り。）そこで私の質問は、「なぜ、イスラエルは 2005 年に軍事駐留を撤退したと思いますか？」そして、「パレスチナはハマスに投票したのに、なぜ世界は親パレスチナという、このナンセンスに注目しないのか？」

アミール：まず第一に、私たちイスラエルは、2005 年にガザから撤退しました。その理由は、当時の首相、アリエル・シャロンが、窮地に陥っていて、そして、彼には、司法長官とイスラエルの法制度全体が必要だったのです。これが非常に危険で、そのため、私たちは改革が必要なのです。分かりますか？彼は、彼らに起訴されたくなかったで、そこで彼らは、なんとなく彼にほのめかしました。「もし触れられたくないなら、進歩的リベラル派の音楽に合わせて踊り、ガザから、さらにはヨルダン川西岸からも撤退したほうがよい。」それで彼は、まずサマリア北部の 3 つの居住区を撤退させ始めました。それが、イスラエルの進歩的リベラルが管理する法制度が、現職の首相を脅す方法で、それが起こったのです。まさにそのために、改革が必要なのです。それが、進歩的リベラル派の最後の砦ですから。そして、イスラエルは法治国家であるため、最高裁判所が判決を下した場合、私たちは従わなければなりません。でも、イスラエルの最高裁判所は、進歩的リベラル派によって支配されていて、そして彼らは、自分の意見と異なる者を、自分たちの仲間に入れることは許しません。イスラエルは、誰が就任するかについて、彼らが拒否権を持っている唯一の国です。だから…この司法改革全体が、今、どれほど必要か見てください。司法制度に問題があり、首相が自分を守るために、そのような行動をとったのです。それが、私たちが 2005 年に撤退した理由です。ところで、誤解しないでください。ヨルダン川西岸のパレスチナ人の 75% が、ハマスと 10 月 7 日の行いを支持しています。そして彼らは、ヨルダン川西岸にいます。ヨルダン川西岸はイスラエルの中心部、イスラエルの山々です。想像できますか？もし、彼らが同じことをしたら？だから、私が言いたいのは、こういうことが起こって、なのになぜ、世界は彼らの側にいるのか？なぜなら、世界は世界だからです。それだけです。最後に世界がイスラエルの側についたのはいつですか？一度もありません。私たちは、世界から非難されることに慣れてしています。国連決議の 85% は、イスラエルに反対するものです。世界中で恐ろ

しいことが起こると、彼らは私たちに執着します。そのことから、これが霊的なものであることがわかります。

男性 1: でも、アミール、パレスチナ人がハマスに投票する時、それが私には理解できません。ハマスがユダヤ人に対するのと同じように、パレスチナ人に対しても残忍であることを知っていながら、なぜ、彼らに投票するのでしょうか？

アミール: それについては、ゴルダ・メイアが答えたように答えます。彼女はこう言いました。「パレスチナ人の母親がユダヤ人を憎む以上に、その子供たちを愛するようになれば、中東に平和が訪れるでしょう。」

フィル牧師: そうですね。息子がたった今、私にテキストメッセージを送ってきました。これはある意味、重要に見えます。どう思いますか？牧師の息子であることは報われます。そうでしょ？息子から私にテキストが来ました。「国連は、1971 年以来最強の動きでガザ停戦呼びかけを強化する。」ニュース速報。彼は、ガザ地区での停戦を今呼びかけるために、自由に使える最強の手段を発動した。これは、霊的に見なければ説明できません。これは悪魔的です。それ以外の方法では説明が付きません。

アミール: 今、停戦を望む人は皆、ハマスの生存を望んでいます。それが直接問題ですから。

フィル牧師: そしてもちろん皮肉なことに、停戦を求める人々と、大学のキャンパスで抗議活動をしている子供たち、彼らは、可能であれば喉を切り裂いて、妻をレイプし、赤ん坊を生きたままオープンで焼く同じ人間です。できることなら、彼らもそうするでしょう。彼らは、可能であればイスラエルで 10 月 7 日に行われたのと同じことを、ここで行う人間を応援しているのです。次の質問。

男性 2: シャローム、シャローム。ここに来られてとても嬉しいです。テレグラムであなたをフォローしています。私の娘が、今後 10 か月間エルサレムに滞在する予定なので、非常に興味があります。そこで、私がぜひとも知りたいのは、私は、あなたのご友人であるオリーブ・ツリー・ミニストリーズのジャン・マーケルさんもフォローしていて、彼女が言っていた事に関して、あなたの意見をお聞きしたいのです。それは、イスラム司法評議会があって、ハマスに関するファトワー(イスラム指導者による法令)を発表した、という内容でした。

アミール: それは私の投稿です。

男性 2: あなたが投稿したんですね。ジャンさんの投稿と混同したようです。とにかく、これについて、話してくれませんか。これは私にとって、とても興味深いことなので。ありがとうございます。

アミール: そうですね。一部のイスラム教徒は、理解しています。ハマスはただ、悲しみ、痛み、悲惨、破壊をもたらすだけで、そして、イスラム教と、イスラム教の一連の道徳を誤って伝えている。そして、勘違いしてはいけません。皆さんは、理解しなければなりません。世界のアラブ諸国のほとんどは、ハマスの破壊を望んでいます。だから、サウジアラビア、UAE、バーレーンから何も聞こえないのです。それから、エジプト人でさえこれを容認しています。誰もが理解しています。ここでハマスが勝てば、次は自分たちだ、彼らも倒される。なぜなら、ハマスはイスラム同胞団で、イスラム同胞団は、アラブ諸国すべてで非合法化されています。中東で唯一、非合法化されていない場所はどこでしょう？イスラエル。いいえ、パレスチナは国家ではありません。彼らは国ですらありません。しかし、皆さんは理解する必要があります。そして、その広域で唯一、合法的な場所はトルコです。トルコは、ムスリム同胞団が統治していて、エルドアンもその一人です。しかし、皆さん理解してください。彼らは、中東全域の政権に存亡の脅威を与えているのです。ですから、その組織からのファトワーは…ちなみに、私はそれを、インスタグラムのストーリーに投稿したと思います。動画だったから。そして、繰り返しますが、皆さん理解する必要があります。ハマスは、ここ(米国)で、非常に多くの人々から賞賛されています。彼らは路上で、非常に多くの恐ろしいことを唱えています。

男性 2: IDF に対する勝利。

アミール: そうです。しかし、私たちは理解する必要があります。私たちの周りのアラブ諸国は、私たちがハマスを終わらせるのを待ち望んでいます。そして、今こうして話している間にも…私たちが話している間にも、エジプトは、3 番目のフェンスを建設中です。間違ってもパレスチナ人が自分たちの領土に移動することがないように。それが、彼らが彼らについて、どう思っているかを物語っています。つまり、考えてみてください。シリア内戦でシリア人に難民が発生したとき、トルコが門を開き、ヨーロッパが門を開きました。ウクライナで戦争があったとき、イスラエルさえも、門を開いた 16 カ国の一つでした。今、誰が門を開けましたか？誰もいません。なぜ？それを尋ねてください。

フィル牧師: もう一つ質問を受けて、それから彼には本のサイン会に行っていただきます。次はこちら。

男性 3: はい。ずっと以前のあなたの動画をいくつか見たのですが、ヨーロッパにおける反キリストについて、語っておられました。あなたは、地球全体をほとんど動かしている秘密結社について、よくご存知なので、私はへりくだって、これをお尋ねします。私には分かりませんから。そして、その場にいないければ、何が起きているのかを知することは、非常に困難です。ただ、イスラエルは約6時間、侵略に反応しなかったとインターネットで聞きました。そこで私の質問は、それは本当ですか？そして、もし本当なら、どうしてそれが起こったのでしょうか？

アミール: 事実ではありません。

男性 3: そうですか。

アミール: それは真実ではありません。事実、イタイはどこにいますか？立ってください。彼は、イスラエル出身の私の友人、イタイです。彼は召集され、そして 3 時間後すでに部隊にいました。イスラエルが、これが起こることを望んでいた、というのは嘘です。それは、陰謀論者によって繰り返される嘘です。それから離れてください。同じ人間が、ツインタワーに衝突した飛行機はなかったと言っています。私は、それを見た人たちを知っています。私は人々を知っています。私はそこにいたのです。よく聞いてください。この世界には、私たちがやるべきことが十分にあります。そして、私たちが最も避けるべきことは、そのようなことを共鳴して、世界の目にばかげて映ることです。イスラエルは、10 月 7 日に奇襲に遭いました。私たちは、諜報機関の最高幹部の大失敗を経験しました。最下級の軍人から政府の閣僚に至るまで、誰もがそのことを知っています。私たちのコンセプトでは…軍がハマスは抑止されていると言っている、と政府は思っていたのです。ハマスが抑止されている、と軍が言ったのは、「彼らが何かをしようとしている」という兵士たちの言うことを、軍が聞かなかったからです。ですから、はい、知識はありました。しかし、その知識を、指揮官たちが真剣に受け止めなかったのです。ですから、誰もこれに興味はありませんでした。私たちの政府に興味がなかったのは、確実です。これはすべて陰謀論で、彼らは言います。私たちには、ガザを通るパイプが必要で、だから、私たちはガザを破壊したかったのだ。何のパイプですか？何の話ですか？パイプなら十分あります。私が知っている唯一のパイプは、私たちが現在、海水をトンネルに流しているパイプです。それが唯一のパイプです。

フィル牧師: 皆さん、ごめんなさい。8時30分です。質問があることは承知しています。でも、もう一つ質問する時間がありません。私たちはアミールの時間を尊重しなければなりません。そういませんか? 本にサインをして欲しい人がたくさんいるのは知っています。彼はまた来ます。2025年と言ってもいいですか?

アミール: 2025年、はい。

フィル牧師: わかりました。アミールは戻ってきます。

アミール: 2024年にイスラエルにいる人は、私たちが建設中の新しいセンター、コネクトにお越しください。

フィル牧師: 2024年には行けるとおもいますか?

アミール: 多分、後半は大丈夫でしょう。

フィル牧師: わかりました。いいえ、時間がありません。私は今、アミールのために祈りたいと思います。それから彼には、本のテーブルに行ってもらいます。彼が歩いているのを見かけたら、止めずにそこまで行ってもらってください。いいですね?

イエス様、今夜はアミールをありがとうございます。神よ、あなたが彼をここに連れて来てくださり、心より感謝します。イエス様、彼の上に祝福を祈ります。神よ、あなたの慈悲深い御手が彼と共にありますように祈ります。主よ、どうか、旅の間、彼を守ってください。主よ、あなたは今後、言葉では言い表せない果てしない形、否定できない方法で彼を用いられるでしょう。主よ、彼のミニストリーを用いて、さらに素晴らしい方法で世界に発信してください。真理の霊が彼の上にありますように。欺瞞と歪曲の時代において、真実が伝えられますように。イエス様、主よ、ユダヤ人やそれ以外の人々に、あなたの威厳、栄光、力を示してください。イエス様、私たちは預言の時代に生きていることを知っています。神よ、このような時期に私たちをここに置いてくださったことに感謝します。主よ、キリストの体が立ち上がり、声を上げるよう祈ります。主よ、キャンセル・カルチャーを前にして、キリストの体が萎縮することなく、主よ、あなたが私たちを生ける神の御力と臨在で満たしてください。この時代に福音の光が明るく輝くよう祈ります。イエスの御名において、アーメン。

アミールに拍手をお願いします。

アミール: アーメン。

フィル牧師: ありがとう、アミール。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

